

姫路市 公共施設等総合管理計画 〔平成28年度～令和7年度〕

次世代に負担を先送りすることなく、将来にわたって公共施設サービスが提供できるように、公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進と保有量の最適化、財政負担の軽減・平準化に取り組めます。

計画対象施設

<p>公共建築物</p> 	<p>公用施設 庁舎、消防署等</p> <p>公共用施設 学校、市営住宅等</p>	<p>社会基盤施設</p> 	<p>道路 橋りょう 河川 漁港 公園 駐車場・駐輪場 水道施設 下水道施設</p>
--	---	--	--

本市の現状と課題

人口

人口減少と少子高齢化の同時進行により、
今後は、人口規模や人口構成に適した、施設のあり方の検討が必要

財政状況

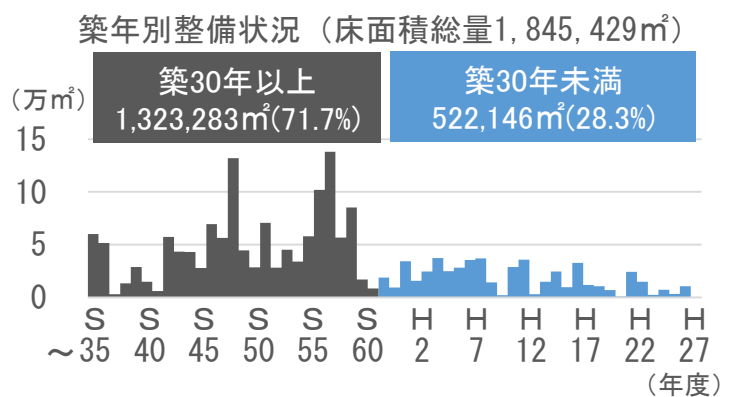
市税収入等の歳入の減少や社会保障費等の歳出の増加による、財政の硬直化により、
今後は、施設の必要性等を精査し、計画的かつ効率的な老朽化対策の実施が必要

公共建築物

平成27年9月現在の保有施設は、
823施設・延床面積約185万㎡

そのうち、整備後30年を経過した
床面積が全体の**約7割**

今後、同時期に改修・更新時期を
迎えるため、現状の投資水準から
さらに約20億円/年が必要



社会基盤施設

社会基盤施設は市民生活に直結する施設であるため、必要な整備水準の確保や
老朽化が進んでいる箇所の更新等、計画的かつ継続的な取り組みが必要

今後の改修・更新費用は、現状の投資水準から**さらに約55億円/年が必要**

本計画の中間評価（平成28年度～令和2年度）

取組実績

1 個別実施計画の策定〔策定施設数：32施設〕

- ▶ 夢前ケーブルネットワーク等の廃止や香寺荘の民間譲渡などを実施
- ▶ スポーツ施設の配置等の最適化方針を策定

2 施設の複合化・集約化〔転用面積：7,760㎡〕

- ▶ 小学校余裕教室の放課後児童クラブへの転用
- ▶ 保育所と幼稚園との結合によるこども園の設置
- ▶ 市営住宅の建替えに伴う集約化による減築 など

3 フリカエリ評価の実施〔実施施設数：45件（H29～R2）〕

- ▶ 施設の大規模改修や更新時に合わせ、当初期待された施設パフォーマンスが維持できているかを確認するフリカエリ評価を実施

4 PPP／PFI手法の活用〔導入件数：3件〕

- ▶ 北部学校給食センターや学校の空調整備などにおいてPPP／PFI手法を導入

5 サウンディング型市場調査の実施〔実施件数：11件〕

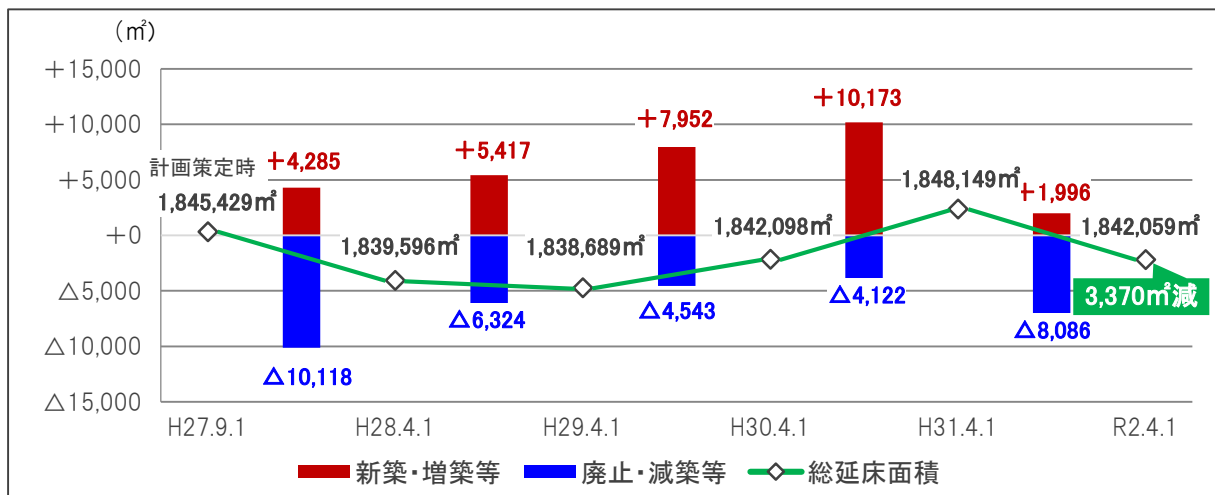
- ▶ 事業発案段階や事業化段階において、民間事業者との対話により様々なアイデアや意見等を把握するサウンディング型市場調査を実施
- ▶ 書写の里・美術工芸館や姫路城東休憩施設などで実施

6 電力・ガス入札等の導入〔効果額累計：1,045,343千円（H28～R1）〕

- ▶ 本庁舎、下水道処理施設、学校などにおいて、電力入札を実施
- ▶ 名古屋山斎場においてガス入札を実施

施設の床面積総量の推移

- ▶ 令和2年度の床面積総量が平成27年度の計画策定時と比較し、約3千㎡減の約184万2千㎡
- ▶ 今後、大規模施設の整備に伴い、床面積総量の増加が見込まれるため、公共施設サービスの最適化に向けたさらなる取組みが必要

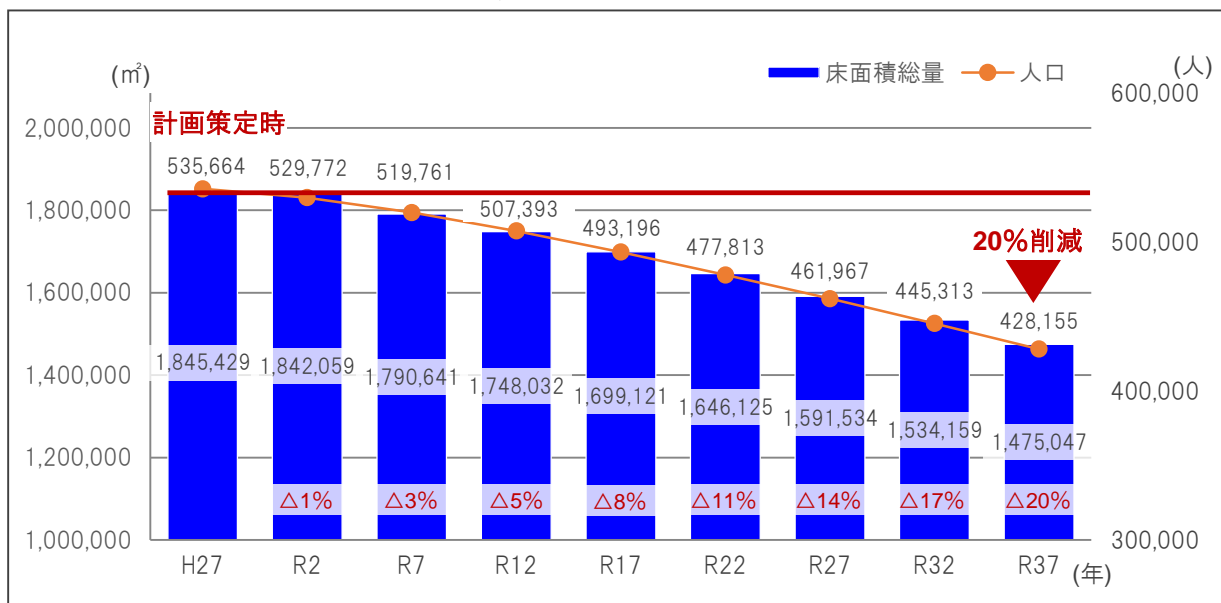


長期的な方針

公共建築物

- ◆ 平成27年度の計画策定時から**40年間で施設の床面積総量の20%削減**を目指す。
(人口推計を踏まえ設定)
- ◆ 秩序を保った整備を行うため、新規整備及び改修・更新のそれぞれについて、**一定のルールのもとに実施**する。
- ◆ 施設の**活性化と利便性の向上**に取り組む。

■人口推計を踏まえた施設の床面積総量の目標推移



※ 人口は、総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」を基に作成

社会基盤施設

- ◆ 市民の日常生活を支えるため、**追加又は新規整備を計画的に実施**する。
- ◆ 改修に当たっては、**長寿命化とダウンサイジング**に取り組む。

計画期間

平成28年度～令和7年度〔10年間〕

※ 5年毎に中間見直し

実施方針・取組みの方策

公共建築物

方針 1 ストック量の最適化

施設の床面積総量が本計画策定時と比べ20%の削減を長期的に目指していくことを踏まえ、公共施設の複合化や集約化、用途廃止などに取り組みます。

取組みの方策

- 全庁的な公共施設マネジメントの推進
- 公共施設情報の見える化
- 個別実施計画の策定
- 事前チェックによる最適化

方針 2 ライフサイクルコストの縮減

耐用年数プラス15年の長寿命化と予防保全に取り組むとともに、防災やユニバーサルデザインに配慮した施設整備に努めます。

取組みの方策

- 公共建築物の長寿命化
- 事後対応型の施設保全から予防型の施設保全への転換

方針 3 管理運営の最適化

管理運営等への民間活力の活用やICTの活用など公共施設サービスの質の向上と維持管理経費の縮減に取り組みます。

取組みの方策

- 民間活力の活用（PPP手法の導入・民間譲渡）
- 施設の活性化と利便性の向上
- 管理運営の適正化

社会基盤施設

方針 1 継続整備の推進

安全かつ快適な市民生活を支えるため、計画的に追加又は新規整備を実施するとともに、災害に備えインフラの強靱化を推進します。

取組みの方策

- 事業費の平準化
- 耐震化の実施
- 整備財源の確保

方針 2 ライフサイクルコストの縮減

施設の長寿命化に継続して取り組むほか、将来の需要の変化を見据えてダウンサイジングに取り組みます。

取組みの方策

- 更なる長寿命化の推進
- ダウンサイジングへの取り組み

方針 3 管理運営の最適化

運転管理等への民間活力の有効活用に取り組むとともに、維持管理経費の縮減に努めます。また、使用料等の受益者負担の適正化を図ります。

取組みの方策

- 民間活力の活用
- 適切な維持管理の推進
- 受益者負担の適正化

各論（公共建築物）

6-14 図書館

① 施設情報

施設名	建物情報		収支状況			利用状況		指標
	延床面積 (㎡)	築年数 (年)	歳入 (千円)	歳出 (千円)	収支 (千円)	貸出人数 (人)	利用率	
1 図書館広域分館(ホール含む)	4,102	27	4,142	46,109	△41,967	71,569	55.7	67.0
2 図書館安室分館	546	32	0	16,253	△16,253	57,753	52.4	58.5
3 図書館手柄分館	589	27	0	14,908	△14,908	52,072	51.1	50.5
4 図書館節理分館(ホール含む)	2,015	34	3,355	30,099	△26,744	47,590	50.0	56.9
5 図書館網干分館(ホール含む)	2,919	29	2,517	29,126	△26,609	43,165	48.9	63.3
6 図書館花北分館	687	2	0	19,928	△19,928	40,684	48.3	96.6
7 図書館東分館	670	24	0	8,453	△8,453	34,517	46.8	73.2
8 図書館東光分館	450	34	0	14,788	△14,788	28,942	45.5	59.0
9 図書館夢前分館	644	40	0	8,163	△8,163	14,279	42.0	50.0
10 図書館安室分館(ホール含む)	4,023	16	1,477	36,481	△35,004	8,898	40.7	70.7
11 図書館家島分館	124	8	0	5,404	△5,404	1,832	39.0	85.3
12 城内図書館	4,823	30	4,589	215,224	△210,635	188,448	83.8	45.0
13 図書館白浜分館	803	32	0	8,613	△8,613	45,036	49.4	41.3
14 図書館香寺分館	1,379	28	0	21,699	△21,699	41,197	48.4	48.6
15 図書館青山分館	528	30	0	14,854	△14,854	39,590	48.0	45.0
合計	24,302	-	16,080	490,102	△474,022	715,572	-	-
平均	1,620	26	1,072	32,673	△31,601	47,705	-	-

② 施設評価

③ 今後の方向性

- ▶ 身近な「知の拠点」として現状を維持しつつ、平成30年度に指定管理者制度を導入した分館については、その効果も検証しながら、今後の図書館全体のあり方を検討します。
- ▶ 老朽化が進んでいる施設は、改修により長寿命化に取り組むとともに、ICTの活用や業務のアウトソーシングなど、より効率的かつ効果的な管理運営に努めます。

◆ 各施設について、利用度・老朽度に関する定量的な施設評価を踏まえつつ、施設の特長や地域の状況などの定性的な評価を総合的に勘案しながら、今後の方向性を掲載

◆ 今後の方向性に沿って、「自主管理計画」を策定するとともに、必要に応じて、「利用促進計画」又は「個別実施計画」を策定

自主管理計画

維持管理経費の削減や施設の予防保全、長寿命化等を盛り込んだ計画

利用促進計画

利用が低迷している施設を対象に、利用促進を図るための取組みを定めた計画

個別実施計画

廃止、集約化、複合化、転用等のあり方検討が必要な施設を対象にした計画

個別実施計画に基づく取組み

- ▶ 今後の施設のあり方検討が必要な施設については、計画に記載のロードマップに基づき、個別実施計画を策定し、公共施設サービスの最適化に取り組めます。
- ▶ 個別実施計画の策定に当たっては、地域や利用者の方々のご意見や民間事業者の提案等もお聞きしながら、施設の特長に応じ多方面から検討していきます。

■ 個別実施計画策定対象施設

施設種別	施設名
コミュニティ施設	公民館
	市民会館 (市民活動・ボランティアサポートセンター、青少年センター含む)
	市民センター
	勤労市民会館
	アイランドハウスいえしま荘
レクリエーション施設	遊漁センター
	緑の相談所
	動物管理センター
保健衛生施設	

施設種別	施設名
児童関連施設	保育所・こども園・幼稚園
高齢者福祉施設	香寺健康福祉センター
	家島老人福祉センター
	香寺いきがいセンター 老人の家
博物館系施設	書写の里・美術工芸館
	動物園
	水族館 手柄山温室植物園
庁舎系施設	出先事務所

公共建築物

施設種別	施設数	延床面積	シェア	主な施設
1 コミュニティ・スポーツ・レクリエーション系施設	166施設	191,079m ²	10.4%	公民館、市民会館・市民センター、ホール、スポーツ施設、地域資源活用施設等
2 医療・福祉系施設	206施設	127,333m ²	7.0%	保健所・保健センター、就学前教育・保育施設、老人福祉センター、障害者福祉施設等
3 産業振興施設	29施設	88,520m ²	4.8%	中央卸売市場、好古園、書写山観光施設等
4 市営住宅等	74施設	400,305m ²	21.7%	市営住宅等
5 教育系施設	148施設	894,055m ²	48.5%	小学校、中学校、高等学校、動物園、水族館、美術館、科学館、図書館等
6 庁舎系施設	177施設	92,831m ²	5.0%	市役所本庁舎、出先事務所、消防署等
7 斎場・霊苑施設	7施設	5,224m ²	0.3%	名古屋斎場、名古屋霊苑、姫路西霊苑等
8 環境系施設	10施設	42,712m ²	2.3%	ごみ処理施設、し尿処理施設

合計 817施設 1,842,059m² (令和2年4月1日現在)

社会基盤施設

施設種別	施設数	施設規模	施設種別	施設数	施設規模
1 道路・橋りょう	市道	10,354路線 2,535km	4 公園	都市公園等	957箇所 483.37ha
	林道	94路線 90km		類似施設	18箇所 23.68ha
	橋りょう	2,687橋 21km	5 駐車場・駐輪場	駐車場	6施設 48,212m ²
2 河川	準用河川	24本 34km		駐輪場	41施設 17,912m ²
	普通河川	587本 515km	6 水道施設	浄水場	23施設 浄水能力
	ポンプ場・雨水貯留施設	49施設 ポンプ90基		配水池	67箇所 164,154m ³ /日
	工作物(樋門)	23箇所 -		管路延長	2,971km -
3 漁港	外郭施設	36施設 3,258m	7 下水道施設	処理場	33施設 処理能力
	係留施設	51施設 3,735m		ポンプ場	36施設 -
	輸送施設	17施設 1,892m		管渠延長	3,146km -
	海岸保全施設	9施設 1,434m			

(令和2年4月1日現在)

姫路市公共施設等総合管理計画

平成28年(2016年)3月 策定
令和3年(2021年)3月 改訂

姫路市 総務局 総務部 行財政改革推進課

〒670-8501 兵庫県姫路市安田四丁目1番地

TEL: 079-221-2947 / FAX: 079-221-2123

URL: <https://www.city.himeji.lg.jp/shisei/0000002495.html>

